

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年4月10日

事業所名 ヴィーデリアン渡鹿

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			なるべく物を置かずにも折りたたみを使用
	2 職員の配置数は適切である	○			資格者、パート等により余裕を持って支援できるよう配置
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			計画をしっかりと立て、反省会、改善点を話し合っている
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者会による意見を大切に理解できていない時は説明
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			年間のスケジュール計画をたて毎日研修を行い報告書を提出
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			面談、連絡帳等により保護者の希望の聞き取り児童とも面談を行う
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			相談員からのアセスメント、保護者とのモニタリング
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			バランスよく行う為毎日予定を立て確認を行う
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			同上
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			毎日スケジュールの確認を行う
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			個別にすることは事前に担当者を決めて行う
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			職員はその日のタイムスケジュールの記入、役割の確認を行う
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			対応の仕方を話し合っている
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			職員がどう関わったかを必ず記入
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			職員で話し合い計画を行なっている
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			バランスよく活動に入れるよう努めている	

関係機関 関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			責任者、担当者が参加できるように調整を行なっている
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			送迎時に確認を行なっている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		医療的ケアが必要な児童の受け入れがない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			就学移行支援シート、会議を行い引継ぎを行なっている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			現在は移行した児童がいないが移行する場合は引継ぎをきちんと行いたい
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			障がいのない児童が来所し、関りをもっている
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎時、連絡帳、LINE等で保護者との情報を共有している
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			ペアトレーニングの支援は行なっていないが支援の仕方、児童が喜ぶことをつたえる
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時、質問があった時に説明を行なっている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			相談があったら家庭訪問を行う。LINE、電話でのやり取りでする場合もある
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			1年に1回保護者を招待する行事を行うようにしている
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情があった時はすぐに対応しその日のうちに解決するようにしている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			活動の写真等を保護者に送ったり、活動内容は毎月出すようにしている
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			理解できるように伝え確認する
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			委員会の設置、定期的に委員会を行う
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			避難訓練の内容を替え、毎月行なっている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待委員会を設置している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			利用者全員の内容を話し合い決定している
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			何かあった時は必ずヒヤリハットを記入する